

南大和病院 SDGs委員会発行

SDGs通信 vol.5



南大和病院は
かながわSDGsパートナーに
認定されました



南大和病院の
SDGsページはこちら ►



<http://www.minamiyamato-hosp.or.jp/SDGs/index.html>

＼みんなで取り組むSDGs／ 「認知症サポーター養成講座」を開催

2024年2月、職員対象の「認知症サポーター養成講座」が開催されました。この講座は南大和老人保健施設の認知症係によって企画され、大和市 人生100年推進課の協力のもと行われたものです。この講座を受講した方は「認知症サポーター」としてサポーターカードやオレンジリング等が渡されます。今回は48名の職員が受講しましたが、いずれ全職員が認知症サポーターとして活動できることを目指したいと考えております。



書籍で学べる『認知症世界の歩き方』

皆さんは『認知症世界の歩き方』という本をご存知でしょうか？

2022年にNHK Eテレで番組化され、以降もシリーズ化しているので、ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。この本は認知症当事者の方々へのインタビューをもとに、「認知症のある方が実際に見ている世界」をスケッチと旅行記の形式でわかりやすく紹介してくれています。





特別擁護老人ホーム「ひまわりの郷」・南大和病院 共催 「ひまわりカフェ」を開催しました!



2024年2月、特別養護老人ホーム ひまわりの郷で「ひまわりカフェ」を開催しました。

今回のカフェは南大和グループ共催で、「ロコモティブシンドロームについて」という内容でお話と測定会を実施。当グループの理学療法士・作業療法士が、地域にお住まいの方やひまわりの郷の職員さん達と一緒に、ロコモ度テストを行いました。



ロコモ度テストは移動機能を確認するためのテストで、①下肢筋力を調べる「立ち上がりテスト」②歩幅を調べる「2ステップテスト」③からだの状態や生活状況を調べる「ロコモ25」があります。

カフェではこれらのテストを実施し、測定後は予防方法について説明しました。

終始笑顔と笑い声の溢れる、和やかな会となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。今後も定期的にひまわりの郷と共に開催でのイベントを企画していきますので、ぜひご参加下さい。



ロコモ＝「ロコモティブシンドローム」とは？

骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒・骨折しやすくなることで、自立した生活ができなくなり、介護が必要となる危険性が高い状態を表す言葉です。平成19年に日本整形外科学会が提唱した言葉ですが、高齢化が急激に進むわが国の現状において、ますます重要度が増してきています。

